

0566-21-0211

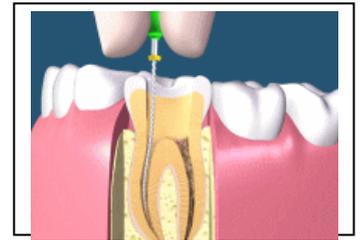
こんにちは。院長の久田和明です。医院に通い始めたけれど、ついつい痛みがなくなった後、中断した経験のある人いませんか？今回は治療の中断が悪い結果となりやすい、ベスト5について解説します。引き続き今回が第22号となります。



☆歯の治療中断で起こるトラブルベスト5

第1位 歯の神経を取ったままの放置は大変！！

歯の神経を取り除く治療を行なった後や、歯の神経が腐ってしまい歯の根の治療を行っている場合など、主に歯の内部の治療を行っているときは、**中断すると後のダメージが特に大きくなります。**



歯の内部は抵抗性が弱いため、あまり放置されると、虫歯が進行したり、根の内部が汚れたりします。**1ヶ月ほどの中断でも影響がある**と考えられます。

歯の根の治療は、痛みがなくなった後も、治療に回数がかかることも少なくありません。しかし**ここで中断になってしまうと、歯の寿命を一気に縮めるので、注意が必要です。**

第2位 被せ物などの型を取ったまま放置は、大変！！

型を取った後でも、歯は口の中で少しずつ移動することも多く、出来れば時間を開けずに完成品の被せ物を取り付けるほうが、精度の面では良い結果となります。

型を取って1~3ヶ月経過してしまうと、被せ物の適合性がずれてしまうことも多く、調整に余分な時間が掛かったり、最悪の場合作り直しになることもあります。

また、型を取った後は、歯科技工士と呼ばれる専門家によって、被せ物などが手作業で作られます。治療中断による作り直しでは、**担当医だけでなく、これらの人の苦労も水の泡**となるため、**費用面の問題だけでなく、モチベーションの低下**につながることもあります。

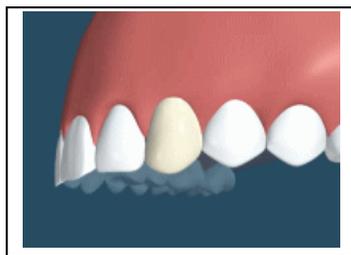


医院のお花



第3位 仮歯のままの放置は、大変！！

一時的に見た目が元に戻るのが、プラスチック状の樹脂で、歯に被せ物などを作る仮歯です。長期間の使用には素材的に耐えることは出来ませんが、手軽で見た目も良いため被せる前などによく作られることがあります。



仮歯は時間が経過すると、次第に磨り減ります。磨り減ってしまった部分は歯の移動によって補正が起こり、咬み合わせ面のせっかく被せるため削ったスペースが、どんどん失われます。

改めて治療を開始した時点では、**スペース不足のため、追加で歯を削ることになり、特に歯の神経をギリギリで保存した場合など、神経を残せなくなってしまう**こともあります。

第4位 応急処置での放置、大変！！



親知らずなどの腫れた際、歯の周囲を洗浄したり、膿を出すために、歯茎の一部を切開するなどして、応急的な処置が行われます。一時的に症状が改善すると、そのまま様子を見たくなりますが、**あくまで対症療法に過ぎず、原因となっている汚れや細菌など塊は歯茎の内部にそのままになっている**ため、しばらくすると前よりももっと腫れることもしばしばです。応急的な処置を繰り返すだけでは、**だんだん状態が悪化する**場合も多く、**簡単に済ませることのメリットは、後でのデメリットを大きくする可能性**もあります。

第5位 虫歯を薬で埋めたまま放置は、大変！！

京極歯科

〒448-0844 刈谷市広小路3-33 (木・日・祝は休診です)

電話予約 ☎ 0566-21-0211

ネット予約 インターネットで [刈谷市 京極歯科](#) で検索してください。(24時間対応)

HP…<http://www.kyogoku-dental.com> <http://www.ireba-aichi.com> <http://www.kyogoku.jp/>

時間の経過がむし歯の更なる悪化を促進させることも多くあります。

治療再開でしたら、気軽に
お電話ください！



久田 和明

歯学博士

歯科理工学専攻

趣味はへたなゴルフ